

渡船

尾道を感じるために多くの観光客は、地元では千光寺山とも呼ばれる大宝山から街を眺めるという選択肢をとります。山から眺めるパノラマの景色は感動的ですが、尾道を水上から眺めるのはまた格別な体験です。幸いにも、それをするのにクルーズ予約を取る必要はありません。

尾道には、市と向島の間を行き来する3社の渡船（フェリー）があり、朝から晩まで定期運航されています。チケット価格はさまざまですが、渡船の運賃は最高でも大人100円で、海上へ出るのに最も安く、簡単な方法だといえます。最も近い島である向島は、渡船に乗って尾道水道をわずか5分行ったところにあります。

1968年に尾道大橋が造られる前は、渡船が尾道と向島とを結ぶ唯一の手段でした。実際に今でも多くの地元民が渡船を使って通勤しており、自転車、自動車、人を同時に運んでいる船を目にすることでしょう。

尾道大橋には自転車道がないためにサイクリストたちは、景観の美しい「しまなみ海道」ハイウェイのサイクリングを始めるのに、まずは向島まで渡船に乗って行くことを勧められます。途中、往路でも復路でも尾道水道の印象的な深い青の広がりを見下ろすことができ、尾道の街が目の前に広がるのも眺めることができます。